

本山南中学校

トライやるウィーク

2日間の体験で、人と防災未来センターには、私の予想を上回るくらいたくさん資料があることを知り、とても驚きました。

また、資料を見たり触れたりすることで、防災や過去の震災に関する知識や興味を深めることもでき、いい経験になりました。今後災害が起きたときにいけるよう、これからも防災に関する知識を増やしていきたいと思います。

資料室では、トライやるウィーク(職場体験)の中学生や、インターンシップの受け入れを行っています。今年度参加してくださった方の感想をご紹介します♪

2日間働いた資料室には、震災など災害についての本が数えきれないほどありました。私は、本についているラベルシールを張り替える作業を担当しました。

また、図書紹介コーナーづくりでは、普段あまり使ったことのないパソコンを使用しました。わからないところは聞きながら取り組み、少しだけ使いこなせるようになりました。

ここで学んだことを学校生活にもいかしていきたいです！



明石工業高等専門学校

インターンシップ

みなさん、こんにちは。8月21日～8月26日と9月18～9月21日の10日間、インターンシップ実習生としてお手伝いをさせて頂きました！！

前半は、蔵書点検を行いました。資料室にとって大事な仕事で責任がありました。

他にも印象的なものとして後半に特設コーナーづくりをしました。作業中は自分にとって興味のある本が多く見つけて、楽しかったです。

今回これらの作業を通して、資料室の利用者さんに対して運営やサービスを行き渡らせることの責任や大変さに加えて、資料にとって快適な環境を作れることにやりがいを感じました。

短い期間でしたが貴重なお時間をいただきありがとうございました。



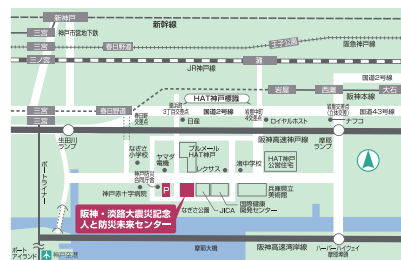
震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな？」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるかわからないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念
DRI 人と防災未来センター 資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター西館 5 階
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062
URL <http://www.dri.ne.jp>
開室時間 9:30～17:30 (展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)
12月29日から1月3日



資料室は無料でご利用いただけます



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution



Vol.70
2019年12月発行

資料室ニュース

震災資料のメッセージ

「手作り表札で広がる復興の輪」

11月下旬からは、長岡照子さん寄贈の手作り表札を展示します。長岡さんは、人と防災未来センターで語り部ボランティアもされていた方です。阪神・淡路大震災のときには、カマボコ板やタンスの廃材など、身近な道具を使って表札を作り、仮設住宅の住民に配りました。震災で傷ついた人々の心を明るく和ませた表札と長岡さんの活動をご紹介します。



枝川町仮設住宅での表札作り 資料番号/0000395-001001

今年度前期展示の「1.17と野球」では、たくさんの方にオリックスブルーウェーブと神戸のあゆみをご覧いただきました。ありがとうございました！



手作り表札(1)
資料番号/
0000395-002001

2020
11/26(火)～5/31(日)

場所 人と防災未来センター
西館3階(有料ゾーン)

令和元年度 資料室企画展「阪神・淡路大震災から25年」

12月17日(火)～2020年3月8日(日)



企画1 河田文庫オープンまでの道のり

河田センター長の防災に関する資料コレクション「河田文庫」のオープンを記念した企画です。資料を公開できるよう、震災資料専門員は今年の4月から資料整理を行ってきました。主に、資料整理の様子を展示します。

企画2 被災地のナイチンゲール～黒田裕子が遺したもの～

昨年の9月、黒田裕子さんの資料が資料室に寄贈されました。黒田さんは、阪神・淡路大震災時から仮設住宅の被災者に寄り添い、支援し続けた方です。それらの資料を震災資料専門員と研究員が震災を知らない世代へ向け展示します。



特集

2019

写真が語る25年

2020年1月17日に、阪神・淡路大震災から25年を迎えます。人と防災未来センターが所蔵する写真資料を通して、震災から25年の月日を感じてみませんか？今年度の資料室ニュースでは、特集「写真が語る25年」と題して、所蔵する写真資料をご紹介します。

第2回 震災と酒蔵

日本を代表する酒どころ“灘五郷”は、震災によって大きな被害を受けました。白鹿記念酒造博物館の酒蔵は、1891年濃尾地震より前に建てられた煉瓦づくりの建物だったため、激しい揺れによって、見るも無残な姿に変わり果ててしまいました。



▲ 散乱した酒造りの道具と煉瓦
震災の大きさを物語っています。

▼ 破損した大桶
現在の白鹿記念酒造博物館で展示されており、見ることができます。



今年の夏も暑いなか、たくさんの皆さまに人防にお越しいただきありがとうございました！

夏休み防災未来学校2019

謎解き！ひとぼうツアー

8月3日は、普段なかなか見ることのできない収蔵庫の見学ツアーを開催しました！当日は、40名の親子にご参加いただき、クイズに挑戦しながら、人防や震災のことについて、楽しく学んでもらいました。



収蔵庫では
温湿度管理もしています！

防災ゲーム 本気あそび



ゲームを通して、
身近にあるものがいざと
いうとき役にたつことが
わかります！



8月の毎週木・金曜日は「なまずの学校」という防災ゲームを実施しました。このゲームは親子で一緒に取り組むことができるため、大変盛り上がりしました。

兵庫県公館県政資料館に資料の貸出を行いました

兵庫県公館県政資料館で、阪神・淡路大震災25年メモリアル特別展「振り返る阪神・淡路大震災」が開催されています。第1期は9月20日～10月12日、第2期は10月19日～来年2月15日までとなっています。今回の特別展は、25年目を迎える阪神・淡路大震災を写真やデータ、実物資料で振り返り、震災の教訓や減災への備えについて改めて考える場として設けられました。写真は第1期の物です。展示ケースの中の炊き出し用の大鍋や、ビール瓶に詰められた飲料水などは、資料室から貸し出されたモノ資料です。



■開催概要■

- ・〔2期〕2019/10/19（土）～2020/2/15（土）
- ・兵庫県公館県政資料館（展示室5,6）

10/19（土）から始まった第2期では、一部展示替えが行われ、新しい資料が展示されています。